

# マイナンバーカードの活用シーンの拡大

## これまでの活用シーンを更に拡大

### 身分証明書としての利用

- 顔写真付き身分証として活用
- 旧氏の併記も可能に (R元.11月～)
- ⇒ 取扱範囲を更に拡大

### 職員証としての利用

- 国家公務員 (H28.4)、徳島県庁 (H29.6) での先行導入
- 民間企業の社員証としての利用 (TKC, NEC, NTT.com, 内田洋行が活用)
- ⇒ 官民間問わず利用を更に拡大

### オンライン契約

- 住宅ローンや、不動産取引などのオンライン契約での利用 (R元.11月 大臣認定事業者14社)
- ⇒ 取引対象を更に拡大

### コンビニ交付サービス

- コンビニで住民票や戸籍などが取得可能なサービスの拡大 (R元.9月対象人口: 9,669万人)
- ⇒ R元年度末には、対象人口1億人突破

### マイナポータル

- マイナンバーに関係する行政機関での自分の情報のやりとり等の確認が可能に (H29.11～)
- 子育て関連手続の申請等をワンストップ化し、プッシュ型お知らせサービスを提供 (H29.11～)
- ⇒ 対象手続を更に拡大

### スマートフォンでの利用

- マイナンバーカード読み取り可能機種が拡大中  
Android: 100機種が対応。(R元.11月)  
iPhone: 11機種※iPhone7以降

## 新たな活用シーンが次々と

### 健康保険証としての利用

- マイナンバーカードを健康保険証として利用できるオンライン資格確認の本格運用開始 (R3.3月～予定)
- 医療機関等での特定健診情報 (R3.3月～予定) や服薬履歴の閲覧 (R3.10月～予定) 等にも活用

### マイナポイントによる消費活性化策

- R2年度にマイナンバーカードを活用した消費活性化策 (マイナポイント) を実施

### 海外利用

- マイナンバーカードの海外利用が可能に (R6年度目処)
- 実証実験の結果等を踏まえ在外選挙におけるインターネット投票を実現 (検討中)

### カジノ入場時の管理

- カジノ施設への入場管理・依存症対策での活用 (特定複合観光施設区域整備法第70条)

### 各種行政手続での活用

- 「デジタル・ハローワーク・サービス」、「デジタル・キャンパス」、「納税のデジタル化」、「建設キャリアアップシステム」等の推進 (R元.6.4デジタル・ガバメント関係会議決定)

活用シーンを更に拡大し、マイナンバーカード1枚で様々なことが可能に

# マイナンバーカード読み取り対応スマートフォン一覧

対応スマートフォンの機種数

(2019年11月8日現在)

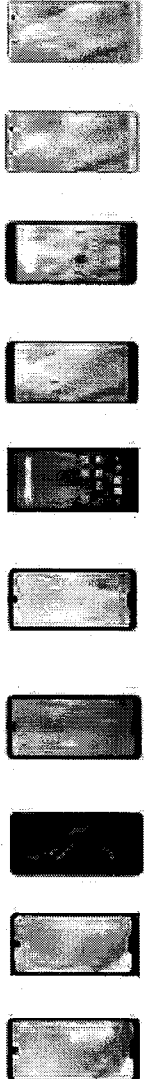
Android 100機種※事業者ごとに計上

iPhone 11機種※iPhone7以降対応

2019年

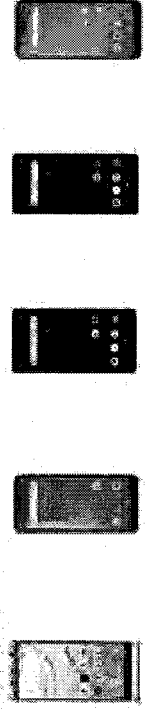
## 【シャープ製】

ドコモ2機種、au2機種、ソフトバンク2機種、楽天モバイル1機種、MVNO2機種、UQ1機種



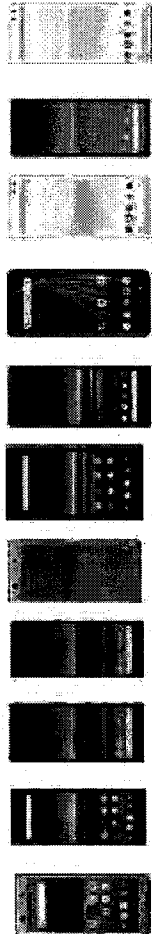
## 【富士通製】

ドコモ1機種、ソフトバンク1機種、法人向けSIMフリー2機種、Y!mobile1機種



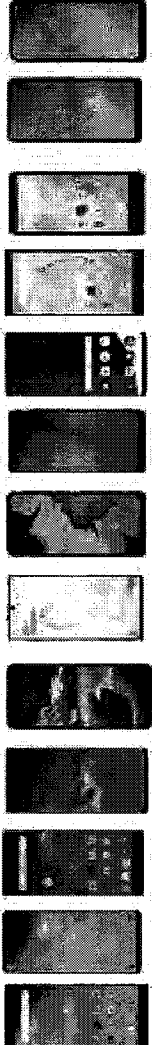
## 【ソニー製】

ドコモ3機種、au3機種、ソフトバンク2機種、楽天モバイル1機種、Y!mobile1機種、UQ1機種



## 【サムスン製】

ドコモ5機種、au5機種、UQ2機種、JCOM1機種



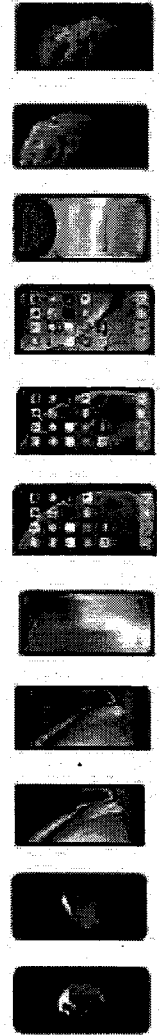
## 【京セラ製】

au2機種



## 【Apple製】

iPhone11機種



2016年からの対応スマートフォンは以下のとおり(数字は機種数)

・2016年 【シャープ製】ドコモ1、au2、ソフトバンク1、MVNO1 【富士通製】ドコモ2

・2017年 【シャープ製】ドコモ2、au3、ソフトバンク3、Y!mobile1、UQ3、JCOM1、MVNO2 【富士通製】ドコモ4 【ソニー製】ドコモ2、au1、ソフトバンク1

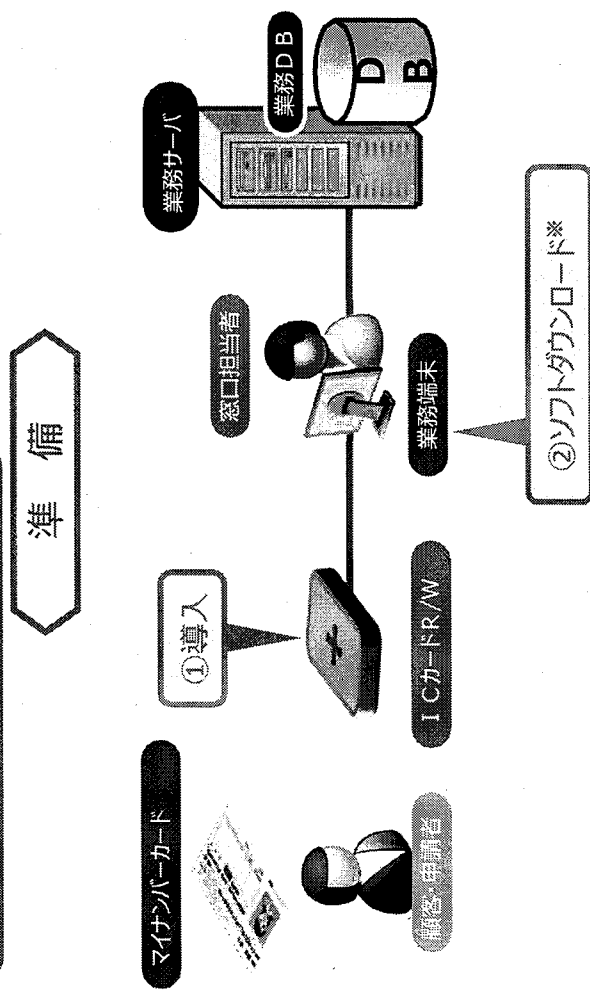
・2018年 【シャープ製】ドコモ2、au2、ソフトバンク2、Y!mobile1、UQ1、MVNO2 【富士通製】ドコモ4、au3、ソフトバンク2 【サムスン製】ドコモ4、au3 【ソニー製】SIMフリー5

# 本人確認を確実にを行うために～「券面事項確認アプリ」の利用方法

## 主な利用主体・場面

- ◆ 法令等で義務付けされた本人確認の場面で
  - 個人番号利用事務・関係事務実施者など
- ◆ その他の場面でも、自由に本人確認書類として利用可能
  - 対面（券面確認）の場面で、補助的に利用

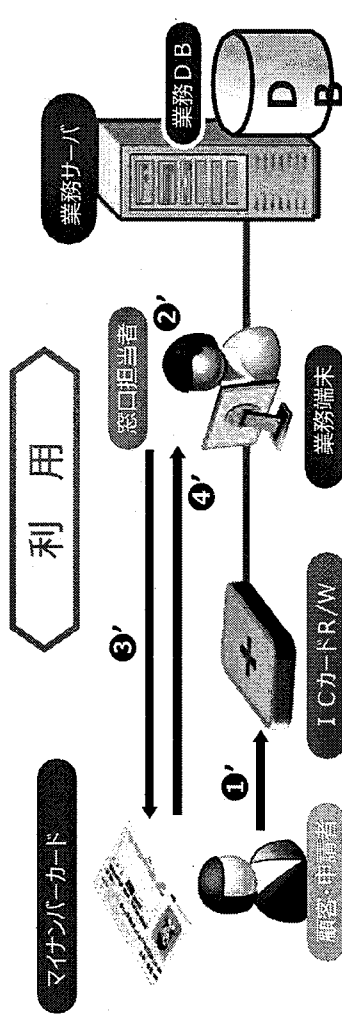
## 準備・利用の手順



※ 券面事項確認表示ソフトウェア

メリット カード券面の真正性の確認が可能に

メリット 確認したカード券面情報を印刷やデータで保存し、証跡を容易に残すことが可能に



①' 顧客・申請者に、カードをICカードR/Wにおいていただく。

②' 窓口担当者（セキュリティコードは顧客・申請者が、照合番号を入力）

照合番号〈 A マイナンバーを利用できる者： マイナンバー12桁

B マイナンバーを利用できない者： 14桁  
（生年月日6桁＋有効期限西暦部分4桁＋セキュリティコード4桁）

③' 業務端末からカードに照会をかける。

④' カードから券面情報が返され、業務端末に表示される。

照合番号〈 A 表面と裏面の券面情報

B 表面の券面情報のみ

(注) マイナンバーカードには、マイナンバーの入ったQRコードが記載されており、バーコードが入ったQRコードが記載されており、バーコードにより読み込むソフト改修を行えば、さらに省力化が可能。